

連波2色仕上げ  
施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティー JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー	15kg/缶	約 75 ~ 100 m <sup>2</sup>
	セーフシーラー JS-800	1液水系珪酸シーラー	16kg/缶	約 80 ~ 106 m <sup>2</sup>
主材	ジョリパットインフィニティ シリーズ 標準色 JQ-500T ( ...数字 ) 特注色 JQ-500 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	A色 : 約 11 m <sup>2</sup> B色 : 約 20 m <sup>2</sup>
骨材	JF-1	寒水石(白竜)1厘	20kg/袋入り	約 10 m <sup>2</sup>

A色(薄い色)は、下塗り、上塗りに使用。

セーフシーラー JS-800 は 2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・ 剣先ゴテ(ステンレス製)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<連波2色仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

・JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2.主材 下塗り

・JQ-500シリーズ A色を無希釈で0.9kg/m <sup>2</sup> となるよう金ゴテ(ステンレス製)にて平滑に塗布して下さい。		
---	--	--

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい

3.主材 上塗り(A、B色)

配 合	JQ-500シリーズ	20kg
	寒水石 1厘	20kg
	清 水	2割
塗布量	約4kg/m <sup>2</sup> (A、B色 各約2kg/m <sup>2</sup> ずつ)	
施工道具	剣先ゴテ(ステンレス製) A色、B色の2色を定板で均一にならない程度に軽く混ぜ、扇状にパターンを付ける。(図-1、2)	

<施工のポイント>

- ・ 2色の寒水石を混合した塗材を等量とり、定板の上で軽くマール状に混ぜます。

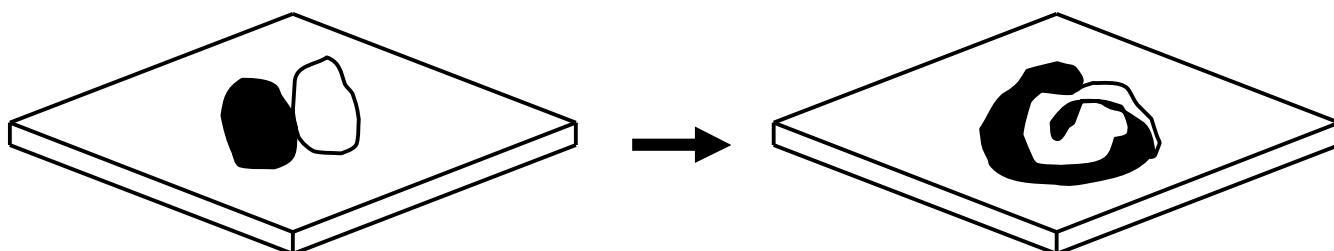


図 - 1

- ・ パターン付けは壁面に対してコテを少し斜めに浮かし、塗材の表面をなでるようにコテを滑らせ、扇形にパターンを付けます。

下図の順番でパターン付けを行います。

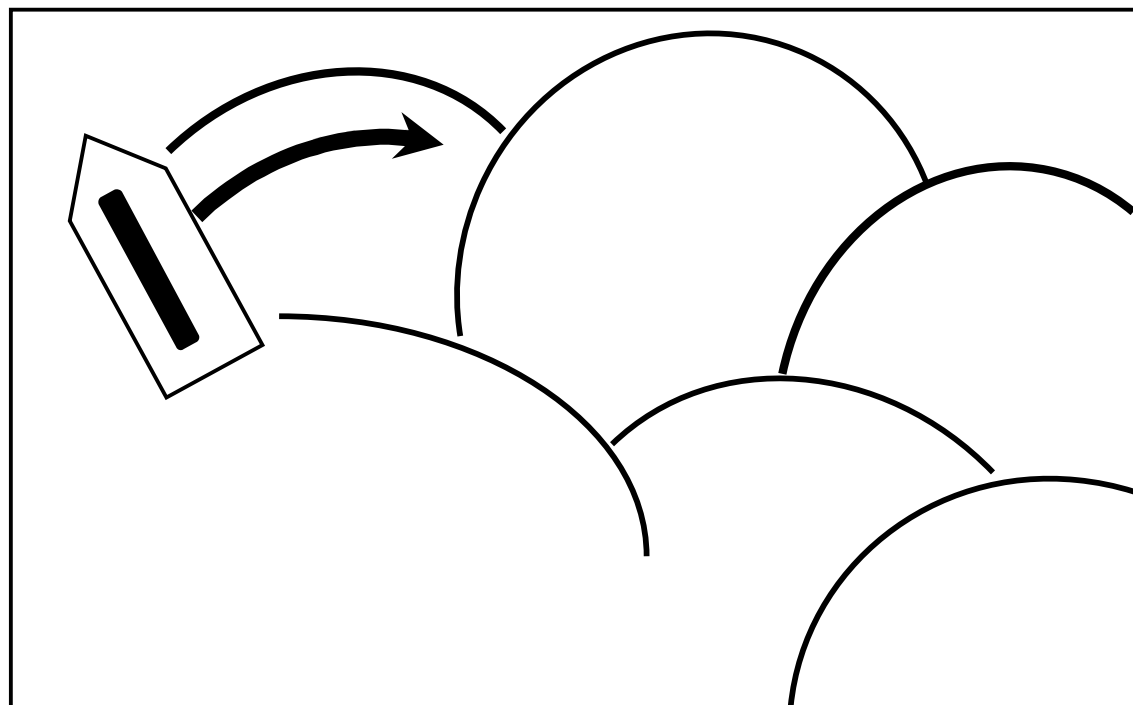


図 - 2

- ・ コテの大きさや形状によりパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターン付けをやり直すと、2色のジョリパットが混じり合い、色がぼけます。また、ジョリパットが乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。

< 施工の注意事項 >

- ・コテはステンレス製のものを使用し、施工してください。  
鉄製の金ゴテを使用した場合、鉄錆の転写、削れた鉄粉の転写で塗膜が変色して見える(グレー色)恐れがあります。
- ・何度もパターンの手直しをすると、ジョリパットが乾燥し、皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・攪拌容器及び攪拌機は、きれいなものを使用してください。鉄粉等が混入すると変色の原因になります。
- ・コテは必ずステンレス製のものを使用し、使用後は直ちに水で洗い流してください。(コテに樹脂がついたまま放置すると錆が発生します。錆のついたコテで施工すると、壁面に錆が付着し、変色の原因となります。)
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上